

令和8年1月13日

遠賀町内中小企業景況調査

(令和7年10月-12月期)

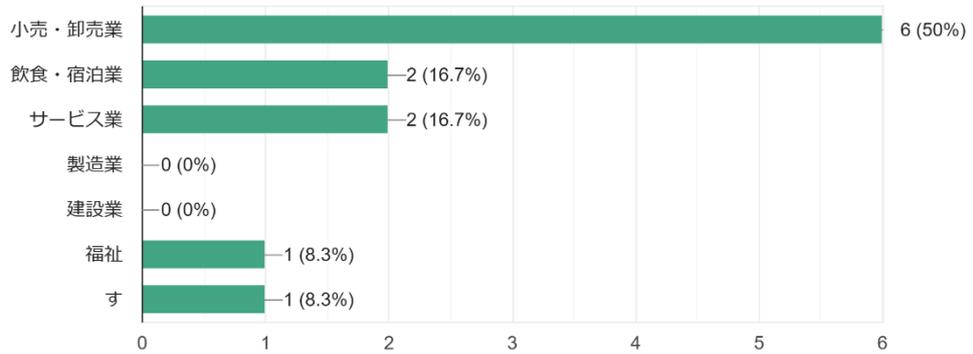
調査：遠賀町商工会

[調査要領]

- ①調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによる WEB 回答
- ②調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③調査時点 令和8年1月1日

1. 貴事業所の業種を教えてください

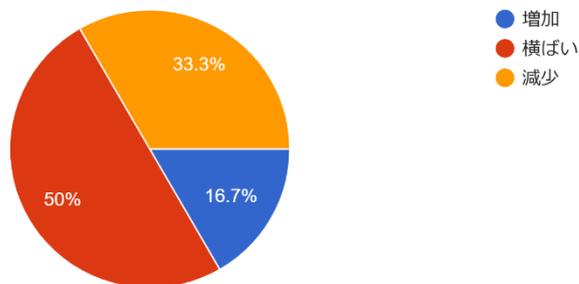
12件の回答



今回のアンケートの回答は、5割が小売・卸売業、続いて飲食、サービスが多く、製造業、建設業が含まれていない。

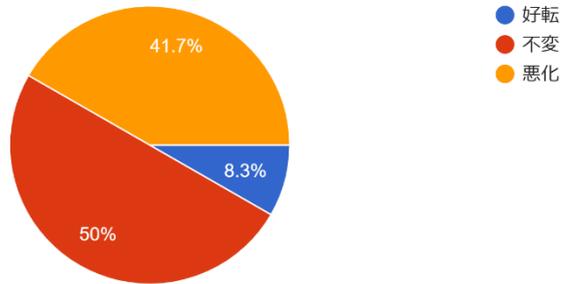
2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

12件の回答



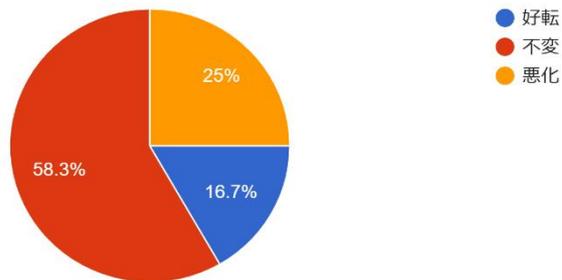
売上傾向については、前年同時期から殆ど変化が見られず、増加という回答が全体の2割に満たず、物価高騰を始めとした下振れ要因が改善されていない状況が見て取れる。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
12件の回答



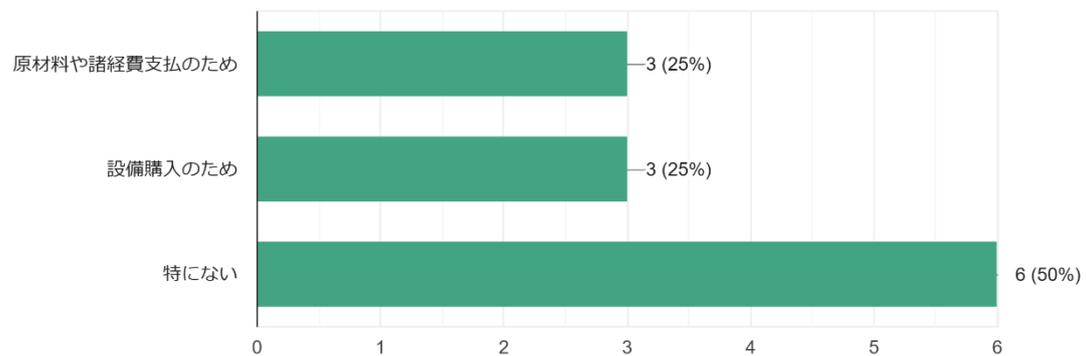
利益の状況についても売上の現状と同様の要因により、前年同時期からの改善が見られず、物価高騰の影響から悪化の割合が増えている。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
12件の回答



資金繰りについては、特に飲食・サービス業ではコロナ融資の返済も相俟って、依然として好転しない状況が続いており、困窮する中小企業に対する国の支援が望まれる。

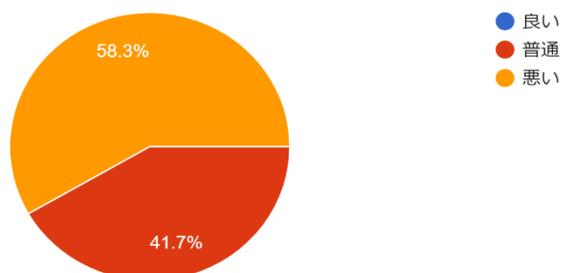
5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）
12件の回答



新たな資金調達については、前年同時期に比べて「原材料や諸経費しらいのため」という回答が増加しており、やはり国の物価対策が求められるところである。

6. 景況感について教えてください 現在の景気をどう感じますか

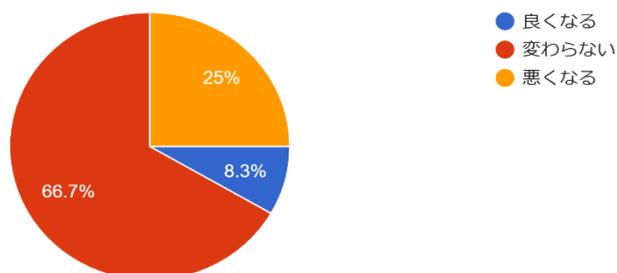
12件の回答



景況感については、前年同期に比べて「悪い」という回答が増加している。これは、今回の対象が商業サービス業中心であることも要因と考えられるが、全業種でもトランプ関税等の経済環境の影響を勘案すれば「良い」という回答がないのは致し方ないところである。

7. 景況感について教えてください 今後の景気の見通しをどう予測しますか

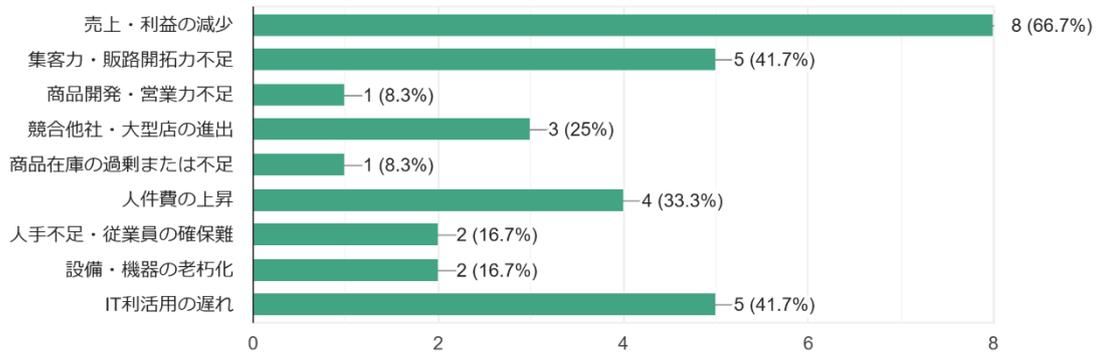
12件の回答



景況感の今後の見通しは、「変わらない」という回答が3分の2に達していることから、悪化要因は出尽くしたと考える企業が増えているということが推察される。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

12件の回答



課題として、「売上・利益の減少」に続いて「集客力・販路開拓力不足」「IT 利活用の遅れ」が続いている。DX化の必要性が叫ばれる中、どこからどう手を付けて良いかわからない中小企業も多いと推察されることから、今後、国としてさらに補助金や税制での支援策も検討していく必要があると思われる。